

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



開校60周年臨時号

R2.4 No. 5 5 3

小竹小学校 5周年 記念誌より

校長 佐藤 正文



【昭和 38 年 3 月卒業アルバムより

初代校長 大井安美 先生】

昭和 29 年頃はまさにベビーブームの時代。小竹町地域の発展を願い、「小竹町にぜひ小学校を！」と分校設立の動きがありました。そして、昭和 34 年（1959 年）5 月 28 日 3 階建て 6 教室の校舎の竣工検査が終わり完成。しかし、水質に問題があり、授業が始まったのは 9 月 7 日。5 学級、1 年生から 5 年生の児童 237 名で歩み始めました。

昭和 35 年（1960 年）4 月 1 日。旭丘小学校より独立して小竹小学校は開校しました。学校名は、保護者から募集し「小竹台」「小竹町」「小



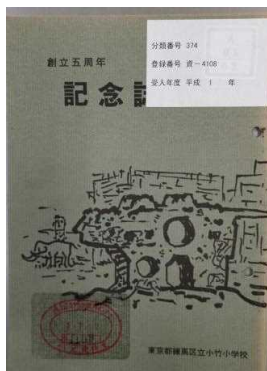
【昭和 36 年頃 人文字による航空写真】

竹」が候補に挙がり「小竹」に決まりました。新 1 年生 64 名を迎え、児童数 494 名。開校式は 4 月 15 日でした。教室が不足していたため、3・4 年生は旭丘小学校の 3 教室を借りての学校生活がしばらく続きました。昭和 35 年 4 月 21 日には、竹の葉に朝日を配する校章が決まりました。

昭和 36 年（1961 年）3 月 25 日は第 1 回卒業式。118 名の門出をお祝いしました。その当時の会場は、校庭か屋上、音楽室だったようです。昭和 36 年度の子供たちの学校生活



【昭和 38 年 体育館完成】



↑ 【小竹図書館に所蔵されていた 5 周年記念誌】



【昭和 38 年 7 月撮影 掃除の様子】 ↑

は、学級園づくりや校庭整備の作業、夏の除草、花壇の手入れ等、環境整備をみんなで協力して行い、がまん強さを学ぶと共に学校づくりの喜びを感じていたのではないのでしょうか。

その頃行っていた体力づくりとして、心と体を鍛えるため「健歩会」が毎学期開催されていました。交通事情により昭和 37 年（1962 年）10 月には全校遠足として変更し、飯能方面（高麗）に出かけています。

昭和 38 年（1963 年）5 月 23 日には、体育館の落成式があり、校歌も発表されました。3 日後には小竹小学校初めての学芸会が行われました。どのような演目だったのでしょうか。翌年の昭和 39 年（1964 年）11 月 23 日は、初めての展覧会でした。そして、同年 10 月 10 日。第 18 回東京オリンピック開幕です。小竹小学校では、4・5・6 年生 27 名が国立競技場での見学。10 月 21 日には、甲州街道で地域の方の協力もありマラソ

ンを見学できたとあります。

昭和 40 年（1965 年）1 月 25 日には、5 周年を記念して作られた庭園の工事が完成しました。

この 5 周年の記念誌は、昭和 34 年から昭和 39 年度までの小竹小学校の創設期の出来事が細かく記載されています。

分校設立にご尽力された分校設立協賛会長 藤森健三様（当時小竹町会長）のお話では「小竹町の地主さん方が、教育は全てに優先するという考えをもち、土地を提供していただいた」とあります。旭丘小学校の教職員、地域の皆さんの温かい支援、小竹町の地域の方々の理解と熱い思いがあったことが伝わってきました。6 周年目には、6 教室分の増築工事の着工が始まります。

広い校庭に、マッチ箱を立てたような小さな学校は、10 周年に向けて、新たな歩みを始めていきます。

（5 月臨時号に続く）